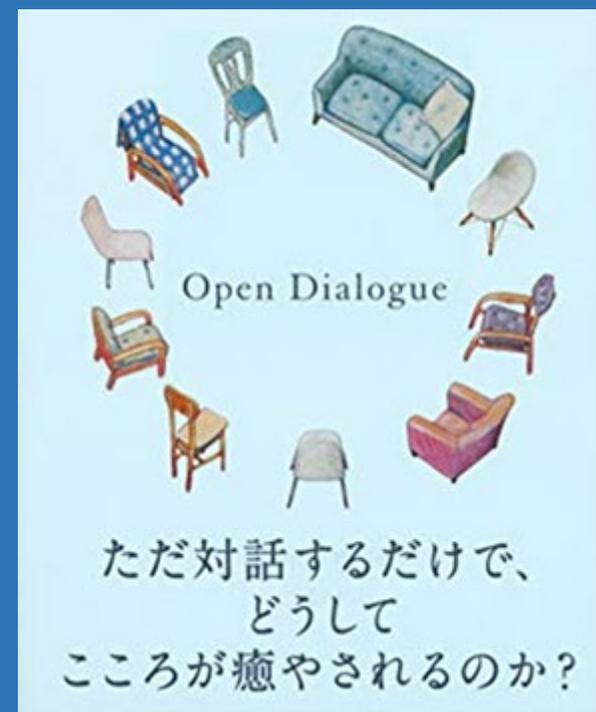


# 第50回 対話研究会

2025.4.16

## 感じるオープンダイアログ 森川すいめい



# 著者ご紹介

## 【森川すいめい】 ←（「すいめい」さんは本名ですか？どんな字なのですか？）

- 1973年 東京要町生まれ。精神科医。鍼灸師。オープンダイアローグトレーナー。Voicyにてオープンダイアローグ（開かれた対話）で生きやすくなるラジオを開設している
- 1995年～ 安心できる住まいを持たない人の支援活動に携わる
- 2003年 ホームレス状態にあるひとを支援する団体「TENOHASI（てのはし）」を立ち上げ現在は後方支援活動を続ける
- 2009年 認定NPO法人「世界の医療団」ハウジングファースト東京プロジェクト代表医師（～2024）
- 2015年～ フィンランドのケロプダス病院を2度訪問、その後日本での基礎トレーニング約1年、フィンランドでのトレーニングを2年受け日本人医師として初めてオープンダイアローグの国際トレーナー資格を取得
- 他の著書 『漂流老人ホームレス社会』（朝日文庫、2015）  
障がいをもつホームレス者の現実  
『その島のひとたちは、ひとの話をきかない』（青土社、2016）  
自殺希少地域での旅の記録  
『オープンダイアローグ私たちはこうしている』（医学書院、2021）  
オープンダイアローグ実践案  
など  
『ここをケアする対話・オープンダイアローグ』 NHK厚生文化事業団 福祉ビデオライブラリ  としさんから教えてもらいました  
おススメ 

# 本書の内容

## 序章

### 対話を開く

---

ただ対話を繰り返すことによって重い精神疾患とされてきた人たちが回復している

## 第1章

### オープンダイアログに出会うまでのこと

---

幼少期のお話、18歳で家を出る、阪神淡路大震災後のボランティア活動、精神科医になる、東日本大震災後の支援活動、自殺希少地域の旅、精神医療現場での葛藤

## 第2章

### 発祥の地ケロプダス病院で

---

- 2回の訪問での体験  
リフレクティング体験、仲のいいスタッフ、ほとんど使われなくなった隔離拘束室

## 第3章

### 対話が、なぜこころを癒すのか

---

- すいめいさんが受けられた対話の実践者になるための3年間トレーニング  
自身がクライアントとなって対話する、家族ができる、蓋をしていた過去からの解放

## 第4章

### オープンダイアログによる対話風景

---

- オープンダイアログの実践風景
- オープンダイアログの目的地⇒対話が自然に起こる状態

## 第5章

### オープンダイアログFAQ

---

- オープンダイアログに関するQ&R(非Answer)

# 思ったこと

## 1 すいめいさんの実践者への道のり

- 「自分のことを話すのはとても怖い」←激しく共感
- I forgive me

## 2 尊厳を大事にする/対等な関係性

- 対等な関係性でなければ対話は難しい
- 対話ができるようになれば対等な関係性が築けるのか

## 3 近い関係ほど対話が難しいことがある

- 相手を思うがゆえ自分の中に勝手な物語が生まれる
- 察したい気持ちと察してほしい気持ち
- 対話は面倒くさい？

## 4 医療以外への可能性

- 自分の身の回りでの実践可能性



# 浮かんだ問い

トレーニングを受けていない素人がいきなり実践できるのか？

対立している関係での実践は可能？



対等な関係性が先か  
対話が先か？

クライアントさんは自分のことを話す怖さはないのか？

---

ご清聴ありがとうございました

本日は森川すいめいさんのお話や  
皆さんとの対話をとっても楽しみにしています

---